



The Kyushu Psychological Association  
78<sup>th</sup> Annual Meeting

# 九州心理学会第 78 回大会 プログラム・発表要旨



日 時 2017年12月9日(土)・10日(日)  
会 場 佐賀大学本庄キャンパス

# 九州心理学会会則

## 第1章 名称および事務局

第1条 本会は九州心理学会と称する。

第2条 本会の事務局は鹿児島大学教育学部 学校教育講座（教育心理学）内におく。事務局の規約については、別途「九州心理学会事務局規約」に定める。

## 第2章 目的および事業

第3条 本会は心理学およびこれに基づく学術の発展を図り、文化の向上進展に寄与するとともに、あわせて会員相互の親睦を図ることを目的とする。

第4条 本会は前条の目的を達成するために次の事業を行う。

- 1 会員の研究促進を目的とする年次の会合(九州心理学会大会と呼ぶ)の開催。
- 2 研究紀要の発行。
- 3 会員の研究活動の促進および助成。
- 4 その他本会の目的を達成するために必要な事業。

## 第3章 会員

第5条 本会の会員は正会員(一般会員・学生会員)と名誉会員からなる。

第6条 正会員は本会の趣旨に賛同し、会費を納入したものとす。会費を3年以上納入しないものはその年の3月31日に原則として正会員の資格を失う。

第7条 本会に入会する場合は、会員1名の推薦をえて、入会申込書にそえて入会金を納めなければならない。

第8条 名誉会員は理事会が推薦し、総会の承認を得るものとする。名誉会員は会費の納入を免除される。また、大会関係諸費のうち、参加費の納入を免除される。

第9条 会員は総会、大会、その他の学術的会合に参加することができる。但し大会費は納めなければならない。会員以外で参加するものは臨時会員として、参加費を納入しなければならない。

(細則)

第10条 第8条、第9条の施行についての細則は、理事会及び総会の議決を経て、別に定める。

## 第4章 役員

第11条 本会は次の役員をおく。

会長 1名 理事、監事 各若干名 事務局長 1名

第12条 会長、理事、監事は総会で選任する。

第13条 理事は原則として各県から各2名選出する。但し福岡県は4名とする。

第14条 会長は本会を代表し、会務を総理し、総会・大会を招集し、その議長となる。理事は会務を処理する。監事は会計を監査する。

第15条 役員の任期は1年とする。但し再任を妨げない。会長、理事、監事の任期は前大会終了の翌日から大会終了日までとする。

## 第5章 総会および大会

第16条 総会および大会は毎年1回これを開く。ただし必要があるときは臨時に開くことができる。

第17条 総会の議事は出席会員の過半数で決める。ただし賛否同数の場合は議長がこれを決める。

## 第6章 会計

第18条 本会の会計年度は毎年4月1日に始まり、翌年3月31日に終わる。

第19条 本会の決算は総会に報告し、その承認を得なければならない。監査報告は総会でこれを行う。

第20条 本会の経費は、会費、寄付金その他の収入を充てる。会費の額は総会にてこれを定める。

第21条 正会員の会費は当分のあいだ一般会員年額4,000円、学生会員年額3,000円とし、毎年3月31日までに納入するものとする。入会金は2,000円とする。

---

## 名誉会員推薦内規

48.11.23 決定

1. 名誉会員は本会の事業運営の上で重要な役割を果たし、また顕著な功績を残した会員の中から会員2名以上の推薦により、理事会の議を経て総会の承認をえたものとする。
2. 名誉会員を推薦するときは、推薦者連署の上、推薦理由を文書により理事会に提出するものとする。

## 九州心理学会第78回大会の概要

1. 会 期     2017年12月9日(土)、10日(日)
2. 会 場     佐賀大学本庄キャンパス     (〒840-8502 佐賀市本庄町1番地)
3. 日 程

### 1日目 12月9日(土)

9:30～            10:00～12:00 12:10～13:00    13:30～ 15:30            16:00～1700    18:00～

教育学部1号館					大学会館
受付 (1F)		理事会 (第1会 議室)	講演会 公認心理師 と学校心理士の今後 の役割について ～教育相談コーディネ ーターとスクールカウ ンセラーの連携に焦点を 当てて～ (多目的室)	総会 (多目 的室)	懇親会

理工学部6号館 (DC棟)	
	ポスター 研究発表 (10:00～12:00)

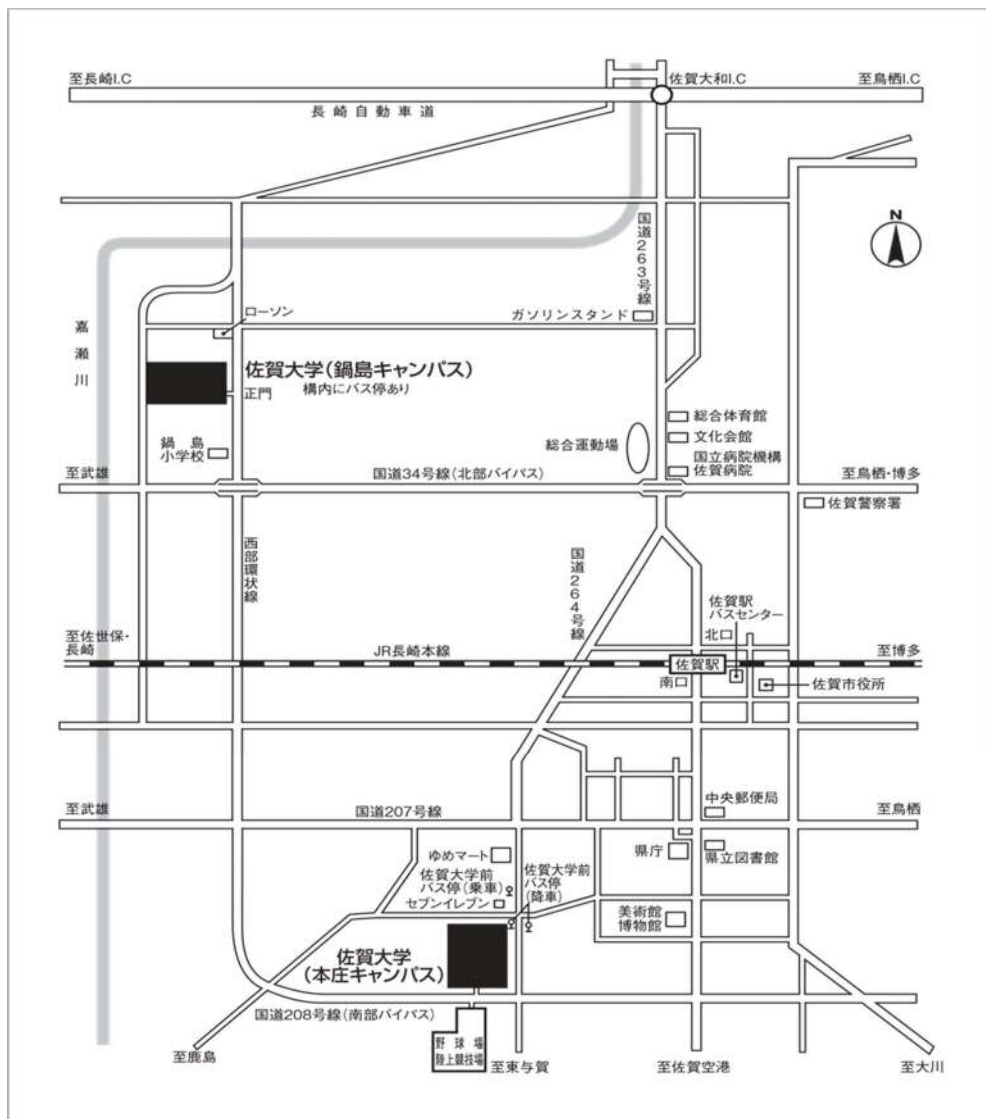
### 2日目 12月10日(日)

9:30～            10:00～ 12:00 12:30～13:00    13:30～ 16:30

教育学部1号館			
受付 (1F)		選考委 員会 (第1 会議室)	シンポジウム 災害後の子どもの支援に おいて求められるもの (104)

理工学部6号館 (DC棟)	
	ポスター 研究発表 (10:00～12:00)

## 会場（佐賀大学本庄キャンパス）へのアクセス



■佐賀駅バスセンターからバスで約 20 分

「4 番のりば」から市営バス 11 番 相応行 又は 12 番 東与賀行で「佐大前」下車  
 「4 番のりば」から市営バス、63 番佐大前行で「佐大前」下車

※バスの便はあまり多くありませんので、タクシーもご利用下さい。

■佐賀駅からタクシーで約 25 分（1200 円程度）

■佐賀空港からタクシーで約 20 分

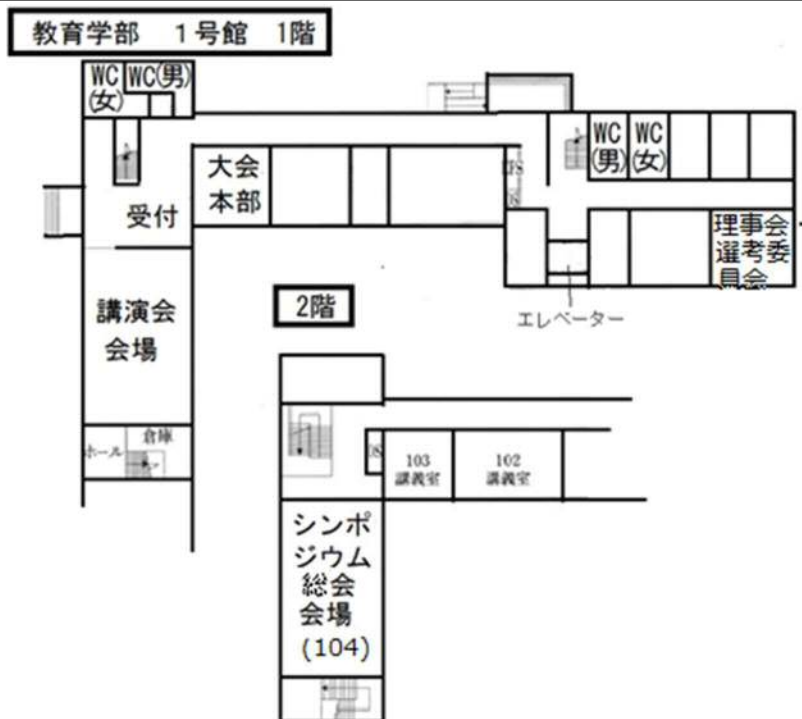
■佐賀大和 IC から約 30 分

※駐車場（有料）が限られておりますので、できるだけ公共交通機関でおいで下さい。

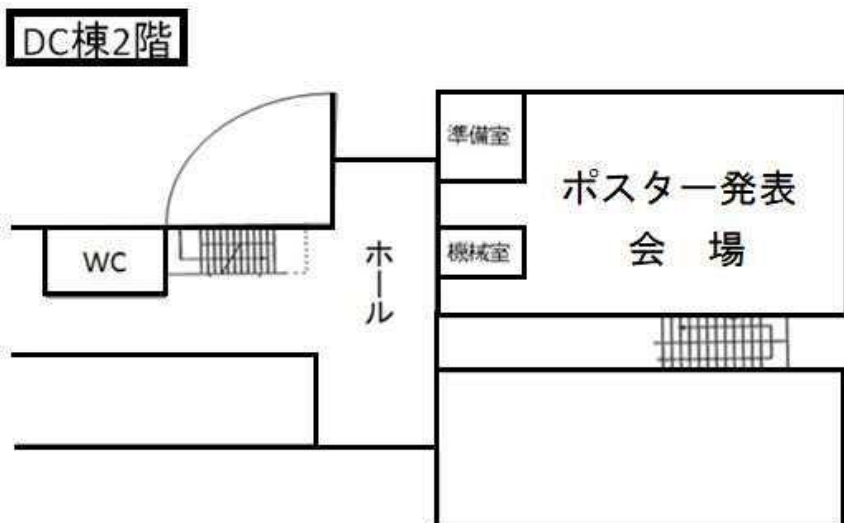
# 会場案内図 (佐賀大学本庄キャンパスマップ)



大会受付・講演会・シンポジウム会場



ポスター発表・機器書籍展示販売会場



## 大会参加者へのご案内

### 1. 受付

(1) 受付場所と時間 教育学部 1 号館 1 階で、9:30 より行います。

#### (2) 大会関係費

大会参加費	一般会員・学生会員（大学院生・研究生）	3,000 円
	臨時会員・非会員連名発表者	2,000 円
	臨時学生会員	2,000 円
	臨時高校生会員	500 円
懇親会費	一般会員・臨時会員・非会員連名発表者・名誉会員	4,000 円
	学生会員（大学院生・研究生）・学部学生臨時会員	2,000 円
論文集代		1,200 円

\*非会員の連名発表費は、第 1 発表者がお支払下さい。

\*非会員が複数の発表に連名する場合、発表費は重複して徴収しません（九州心理学会会則・細則をご参照下さい）。

\*非会員の連名発表者が大会に参加する場合、発表費とは別に大会参加費が必要です。

(3) 諸費支払 未納の方は、本プログラムに綴じ込みされた諸費支払い表にあらかじめご記入の上、受付にてお支払下さい。

(4) 参加章 受付を済まされた方には、参加章をお渡しします。会期中は必ずお付け下さい。

### 2. 理事会

大会 1 日目の 12 時 10 分より、教育学部 1 号館 1 階第 2 会議室で開催いたします。各県の理事の方は必ずご出席下さい。

### 3. 総会

大会 1 日目の 16 時より、教育学部 1 号館 1 階多目的室で開催いたします。会員の方は全員ご出席下さい。

### 4. 選考委員会

大会 2 日目の 12 時 30 分より、教育学部 1 号館 1 階第 2 会議室にて、大会優秀発表賞及び優秀実践研究賞の選考委員会を開催します。選考委員の方は必ずご出席下さい。

### 5. 懇親会

会員の皆様の親睦と交流を図るために、1 日目の 18 時 00 分より、佐賀大学本庄キャンパス内「大学会館」にて、懇親会を開催します。会費は 4,000 円です。（学生 2,000 円）。

多数の方のご参加をお待ちいたしております。

### 6. クローク

お荷物は、教育学部 1 号館 1 階のクロークでお預かりいたします。お預かり時間は、両日とも 9:30 から 17:00 までです。ただし、貴重品のお預かりはできません。

## 7. 展示・販売

書籍等の展示・販売を会場内に設置いたします。

## 8. 昼食・宿泊

大会事務局としての準備・ご案内はございません。各自でご手配・ご予約下さいますようお願い致します。

## 9. 大会本部

大会本部は、教育学部 1 号館 1 階に設置します。発表取り消しなどのご用件は、お問い合わせメールアドレス (kyushin78@gmail.com) でも承ります。会場での呼び出しは原則としていたしません。

## 10. 大会優秀発表賞の推薦

九州心理学会では、大会での全発表者を対象とした「九州心理学会大会優秀発表賞」の選考、賞の授与を行っております。九州心理学会大会優秀発表賞規程に基づき、優秀発表賞（1 件程度：全発表者対象）、若手研究奨励賞（1 件程度：学生会員発表者対象）の選考を行います（ただし、基準を満たす優秀な発表がない場合、“受賞対象なし”となる場合もあります）。

賞の選考は、大会期間中に、一般会員の推薦に基づき、選考委員会の協議により行われます。推薦書は 2 日目の 12:00 までに発表受付のボックスに入れて下さい。大会参加者の皆さまには、数多くのご推薦をよろしくお願いいたします。

なお、優秀実践研究賞につきましては、事前にご推薦いただいた研究について選考いたします。

## 11. その他

学会スタッフはスタッフ用名札を付けております。ご不明な点は遠慮なくお尋ね下さい。

## 12. お問い合わせ・連絡先

(1) 九州心理学会第 78 回大会についてのお問い合わせ先

九州心理学会第 78 回大会準備委員会

〒840-8504 佐賀市本庄町 1

佐賀大学教育学部若本研究室内

E-mail : kyushin78@gmail.com

(2) 九州心理学会の会則や運営についてのお問い合わせ先・新規入会申し込み先

九州心理学会事務局

〒890-0065 鹿児島県鹿児島市郡元 1-20-6

鹿児島大学教育学部心理学科内

TEL : 099-285-7780 FAX : 099-285-7777

E-mail : kudep@edu.kagoshima-u.ac.jp

HP アドレス : <http://www.psychology.hes.kyushu-u.ac.jp/~kpa/>



---

## 研究発表者へのご案内

---

### 1. 発表会場

ポスター形式による発表を、理工学部 6 号館(DC 棟)2 階「多目的セミナー室」で行います。

### 2. 研究発表

割り当てられたセッション中、ポスターを掲示し、決められた在席責任時間の間待機して、質疑に応じることで正式発表とみなされます。セッション中は、在席責任時間外もできるだけ在席することが望まれます。在席責任時間中には出欠の調査を行います。

### 3. 在籍責任時間

在席責任時間は以下に従って下さい。

ポスター掲示場所の番号が奇数の方 10:00～11:00

ポスター掲示場所の番号が偶数の方 11:00～12:00

ポスター掲示場所の番号はプログラムに記しています。

### 4. ポスター

ポスターを掲示するパネルを会場に用意していますので、それを利用して発表して下さい。パネルのサイズは、タテ 180cm×ヨコ 90cm です。このサイズに収まるようポスターをご用意いただき、セッション開始 5 分前までに貼って下さい。画鋲は会場に準備しています。

### 5. ポスターの撤去

大会優秀発表賞の選考のために、発表済みのポスターも 2 日目の 12:00 までは継続して掲示していただくようお願いいたします。1 日目の発表者の方も、ポスターの撤去は 2 日目の 12:00 以降をお願いいたします。この時間に撤去ができない方は、準備委員会で撤去します。

### 6. 発表取消

責任発表者が欠席した場合は、「発表取り消し」とみなします。ただし、連名発表の場合は、大会委員長の承認があれば連名者が発表を代行することができます。なおその際、同一の者が複数の研究の発表者になることはできません。発表者に欠席や交代などの変更があれば、会期前は大会準備委員会に、会期中は大会本部に連絡して下さい。

### 7. 補助資料

補助資料を用意される方は、各自で配布して下さい。

### 8. 論文集原稿

各発表者は、発表論文集掲載および大会優秀発表賞選考資料のための原稿（2 部）をポスター発表の受付時に提出して下さい。

---

## 論文集原稿作成要綱

---

### 1. 原稿の構成

発表論文集掲載の原稿は、原則として、問題、方法、結果、考察、引用文献などの各項目に分けて記述し、科学論文の要件を満たして下さい。一連発表の場合にも、それぞれが完結した論文であることが必要です。

### 2. 原稿作成方法

原稿のサイズはA4判で1枚です。必ずA4普通紙を使用してください。原稿の記述はワープロソフトを使用し、黒で鮮明に印字して下さい。カラー印刷は避けて下さい。

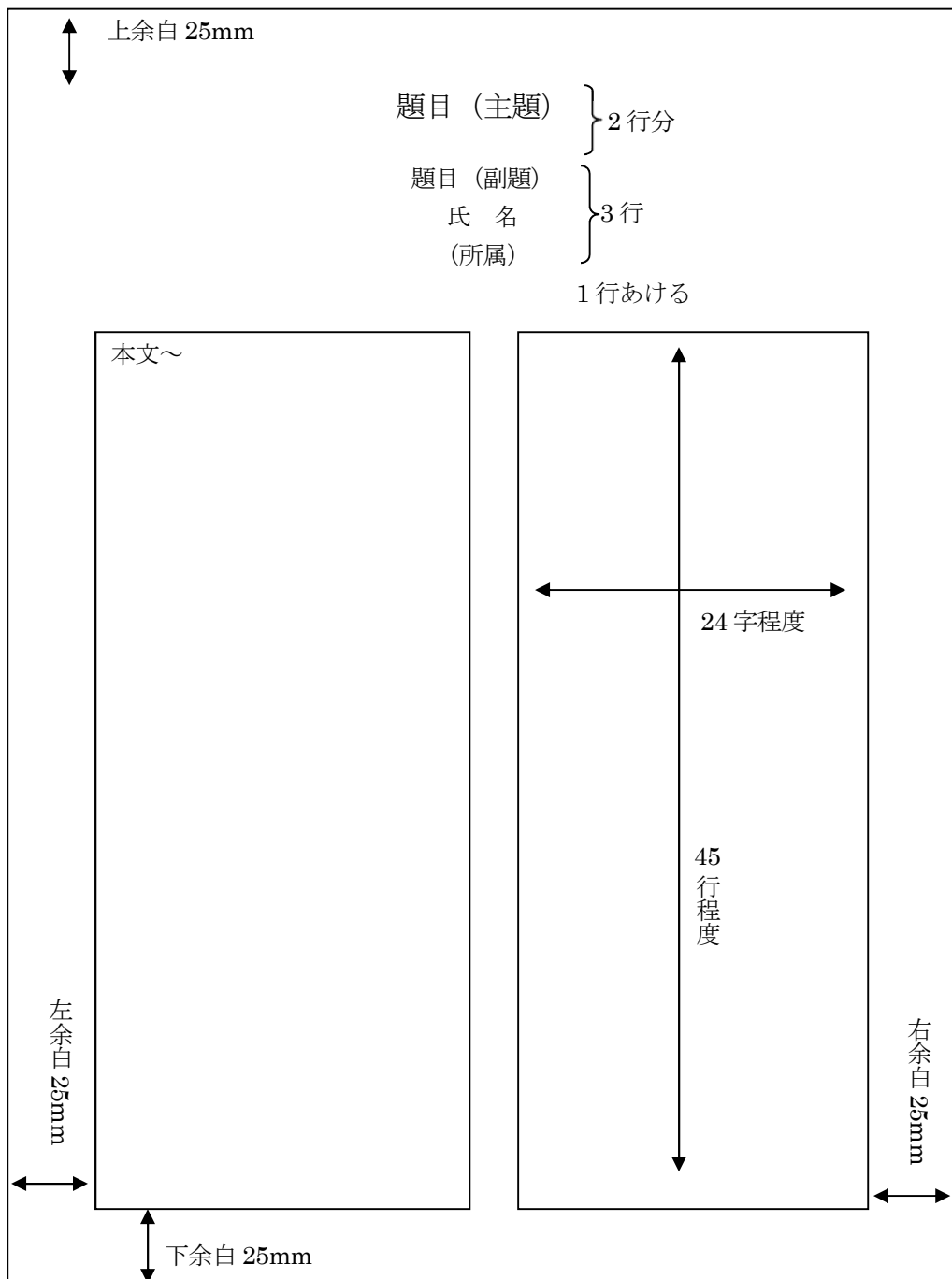
字数は24字×本文45行（総行数51行）程度を目安として、2段組でレイアウトして下さい。余白は、上下左右に25mm程度とって下さい。原稿の書式（テンプレート）は、大会ホームページからダウンロードしてください。

HPアドレス <http://kpa78.pd.saga-u.ac.jp/>

### 3. レイアウト

- (1) 「題目（主題）」は第1行と第2行に、4文字分程度を1字に使用して書いて下さい。
- (2) 「題目（副題）」は第3行に印字して下さい。副題がない場合は第3行を空けて下さい。
- (3) 「氏名」は第4行に記入し、連名の場合には研究発表者（責任発表者）の氏名の前に○印を付けて下さい。
- (4) 「所属」は第5行に、氏名の下に括弧でくくって記入して下さい。連名の場合、発表者の所属が同一であれば、一つだけ記入して下さい。所属が大学の場合には学部あるいは研究所名まで記入し、大学院生は研究科名まで記入して下さい。連名者が多数の場合は、一般に通用する略称を用いても差し支えありません。
- (5) 第6行目は空けて下さい。
- (6) 題目の字数、副題などの関係から上記の行数や字のポイント数に若干変更があっても、「本文」は必ず第7行目から書き始めて下さい。
- (7) 図・表・写真の合計面積は全体の1/3を超えないようにして下さい。
- (8) 図や表は、A4判普通紙に直接記入するか、白紙に白黒で書いたものを貼り付けて下さい。
- (9) 「引用文献」は、本文の最後に書いて下さい。
- (10) 発表会場名、発表日、発表番号などは書き入れないで下さい。

# 発表論文集原稿レイアウト



---

## 講演会

---

**公認心理師と学校心理士の今後の役割について**  
**～教育相談コーディネーターとスクールカウンセラーの連携に焦点を当てて～**  
講師 石隈利紀 (東京成徳大学)

第1日目 12月9日(土) 13:30～15:30 教育学部1号館1階多目的室

### 概 要

公認心理師法が9月15日に施行されました。初めての心理職国家資格である公認心理師の現実化・具体化に向けた動きの中で、学校心理士類型1・学校心理士補の方の科目読み替え、類型2・3の方の現任者あつかいの可能性と課題について触れながら、改めて学校心理士の今後の役割について、教育相談コーディネーターとカウンセラーの連携に焦点をあてて述べていきます。チーム学校をめざすなかで、「学校心理士」は大きな貢献ができると思います。

\*本講演会は、学校心理士更新資格Aポイント対象の研修会として申請しています。

---

## シンポジウム

---

### 災害後の子どもの支援において求められるもの

第2日目 12月10日(日) 13:30~16:30 教育学部1号館2階104教室

企 画	大元 誠 (佐賀大学教育学部・臨床発達心理士) 若本純子 (佐賀大学教育学部・臨床発達心理士)
司 会	大元 誠 (佐賀大学教育学部)
話題提供者	下田芳幸 (佐賀大学大学院学校教育学研究科) 石井宏祐 (佐賀大学教育学部)
指定討論	井邑智哉 (佐賀大学大学院学校教育学研究科) 若本純子 (佐賀大学教育学部・臨床発達心理士)

#### 企 画 趣 旨

災害国であるわが国では、いついかなる場所で大災害が起こっても不思議ではない。昨年4月に熊本地震が、また本年7月に北部九州豪雨が発生し、多くの被災者が出たことは記憶に新しい。

大災害等の直後以降に行われる支援は、緊急支援あるいは危機介入と呼ばれ、平常時の支援とは異なる特徴をもつ。本シンポジウムでは、被災した子どもと被災地で子どもを支援する教師などの支援者に焦点をあて、災害後の支援の実際、留意点等について、多角的な議論を行いたいと考えている。

#### 話 題 提 供

熊本地震における小中学校での緊急支援の実際 下田芳幸

2016年4月に発生した地震により、熊本市内の小中学校では、1、2学期を中心に、心理士による緊急支援が行われた。話題提供者はこのうち、1学期の支援の第一陣として中学校に2日、小学校に1日の支援に入った。この時の学校の様子や支援の実際を報告し、震災等における学校での緊急支援のあり方について参加者とともに考えていきたい。

被災地支援における支援者の想い 石井宏祐

熊本地震及び東日本大震災に支援者として携わった心理士へのインタビュー調査をもとに、被災地支援における支援者の経験について、想い、苦勞、工夫などの観点から概観する。

\*本シンポジウムは、臨床発達心理士の研修ポイント対象の研修会として申請しています。

## 研究発表

第1日 12月9日(土) 10:00~12:00

在席責任時間 奇数 10:00~11:00

偶数 11:00~12:00

### 【情動・動機づけ】

掲示番号	発表題目	所属	氏名
土-1	看護学生の先延ばしと大学への適応感との関係(1)	大分県立看護科学大学 看護学部	秋本 慶子
		佐賀衛生看護学院	伊藤真由子
		大分県立看護科学大学	吉村 匠平
		大分県立看護科学大学	関根 剛
土-2	科目履修の自由度が大学生の動機づけに与える影響 —必修科目、選択科目と共通教育科目の違い—	鹿児島大学大学院 教育学研究科	馬 暁玲
		鹿児島大学	島 義弘
土-3	表情と発言の不一致が感情の読み取りに及ぼす影響	九州大学大学院 人間環境学研究院	村井麻里子

### 【認知】

掲示番号	発表題目	所属	氏名
土-4	損失と連合した視覚情報は注意を捕捉するか	九州大学文学部	伊比井花菜
		九州大学大学院 人間環境学研究院	光藤 宏行
土-5	現代大学生のリスク事象	久留米大学大学院 心理学研究科	桑鶴 啓伸
		久留米大学文学部	木藤 恒夫
土-6	顔のホクロは魅力度を増加させるのか？	九州大学	中 響子
		九州大学	山田 祐樹

第1日 12月9日(土) 10:00~12:00

在席責任時間 奇数 10:00~11:00

偶数 11:00~12:00

【発達1】

掲示番号	発表題目	所属	氏名
土-7	就学前児同士の相互作用の発達 —共同活動場面から—	九州大学	沖田 夏美
		九州大学	実藤和佳子
土-8	おもちゃを壊した場面で幼児は どのような向社会的方略を用い るか —誤信念課題との関連から—	九州大学大学院 人間環境学府	山口小夜子
		九州大学	実藤和佳子
土-9	幼児はどのような種類の因果的 に関連のない行為を模倣するの か —機能的行為と任意的行為を比較し て—	九州大学大学院 人間環境学府	谷口 雄紀
		九州大学	実藤和佳子
土-10	幼児は相互作用場面においてど のような位置関係を好むのか？ —クラスの活動場面と自由遊び場 面での観察研究—	鹿児島大学大学院 教育学研究科	神田まほろ
		鹿児島大学	島 義弘

【教育】

掲示番号	発表題目	所属	氏名
土-11	規範意識、内発的動機および自信 がボランティア活動への関心、着 手意欲に及ぼす影響	志學館大学	野上 真
土-12	大学1年生の卒論ゼミ参加が学習 への内発的動機づけに及ぼす効果	株式会社グッデイ	赤崎 大地
		大分大学福祉健康科学部	古城 和敬
土-13	大学生の困り感からみた被援助へ の抵抗感	鹿児島大学大学院 教育学研究科	嶋田未菜美
		鹿児島大学	島 義弘

第1日 12月9日(土) 10:00~12:00

在席責任時間 奇数 10:00~11:00

偶数 11:00~12:00

【臨床・障害】

掲示 番号	発表題目	所属	氏名
土-14	女子中学生のスクールカウンセラーへの相談活動を抑制させる要因の検討	長崎純心大学人間文化研究科	新井 琴音
		長崎純心大学人文学部	吉武久美子
土-15	乳幼児期の子どもを持つ母親のメンタルヘルス向上のための介入	宮崎公立大学人文学部	川瀬 隆千
		宮崎大学	立元 真
		宮崎公立大学	野崎 秀生
		宮崎公立大学	後藤 大士
		いわきりこころのクリニック	岩切 祥子
		細見クリニック	坂邊 夕子
	早稲田クリニック	岡本 憲和	
土-16	特別支援学校におけるキャリア発達支援の研究(3)	鹿児島大学大学院教育学研究科	榊 慶太郎
		鹿児島県立武岡台養護学校 鹿児島大学教育学系	今林 俊一
土-17	大学生の過去の「問題のあるインターネット利用」の実態と寛解の検討	琉球大学大学院 人文社会科学研究科	底原 昂大
		琉球大学	遠藤 光男
土-18	学習障害の事例における漢字単語音読の学習支援	鹿児島大学大学院 教育学研究科	古里 恵
		鹿児島大学教育学部	雲井 未歆



第1日 12月9日(土) 10:00~12:00

在席責任時間 奇数 10:00~11:00

偶数 11:00~12:00

【社会・集団・文化1】

掲示 番号	発表題目	所属	氏名
土-19	ワークシートの質的変容に見られる論理的思考の発達	鹿児島大学大学院教育学研究科	赤崎 健樹
		鹿児島市立南小学校 鹿児島大学教職大学院	仮屋園正彦
土-20	個人間の物理的位置関係と心理的位置関係における相互作用の検討	山口大学	大江 慶寛
		山口大学	小杉 考司
土-21	他者との関係性が居心地に及ぼす影響	大分大学	井川 純一
土-22	見られると浮気したくなくなる!? — 評判に対するセンシビリティが男性の短期配偶志向に及ぼす影響 —	山口大学大学院	川端 理子
		山口大学	岩永 翔太
		山口大学	猪熊 晃
		山口大学	谷 和剛
		山口大学	田村 奈央
		山口大学	小野 史典

第2日 12月10日(日) 10:00~12:00

在席責任時間 奇数 10:00~11:00

偶数 11:00~12:00

【原理・方法】

掲示番号	発表題目	所属	氏名
日-1	内観法と自己エスノグラフィの 差異に関する検討 —心理学研究としての〈対象〉および 方法的特徴の観点から—	立命館大学文学研究科	土元 哲平

【生理】

掲示番号	発表題目	所属	氏名
日-2	メスマウスの物体再認学習に及 ぼすエストロゲンの効果	鹿児島大学	富原 一哉

【感覚・知覚】

掲示番号	発表題目	所属	氏名
日-3	音楽を聴くと作業ははかどる？ —音楽の有無とテンポによる比較—	山口大学	松本 真知
		山口大学	玖村 奈美
		山口大学	坂本 和久
		山口大学	山下 健一
		山口大学	小野 史典

【学習】

掲示番号	発表題目	所属	氏名
日-4	表示媒体が記憶と文章理解に与え る影響	山口大学	有馬多久充
		山口大学教育学部	小杉 考司

第2日 12月10日(日) 10:00~12:00

在席責任時間 奇数 10:00~11:00

偶数 11:00~12:00

【発達】

掲示 番号	発表題目	所属	氏名
日-5	児童期におけるアタッチメントと hyper-QU	琉球大学教育学部	中尾 達馬
日-6	ブックスタート経験が保護者及び生徒に 与える影響 —中学3年時追跡調査I—	福岡女学院看護大学	原崎 聖子
日-7	わざと？本気？ —話者の態度が選択的信頼に与える影響—	福岡女学院大学	篠原しのぶ
		国際医療福祉大学	彌永 和美
		九州大学大学院	三好 美央
		九州大学	実藤和佳子

【教育2】

掲示 番号	発表題目	所属	氏名
日-8	レジリエンスが中学生のストレス反 応とコーピングに及ぼす効果の検討	鹿児島市立皇徳寺中学校 鹿児島大学大学院教育学研究科	今村 慎吾
日-9	反転学習と模擬養育者との対話実践 を導入した「保育相談支援」の評価 —授業前後での「相談」に対するとらえ方 の変化—	鹿児島大学教育学系	関山 徹
		中村学園大学教育学部	笠原 正洋
日-10	3つの「わかる」を尺度にした学習評 価の試み	大分大学	藤田 敦

第2日 12月10日(日) 10:00~12:00

在席責任時間 奇数 10:00~11:00

偶数 11:00~12:00

【人格】

掲示 番号	発表題目	所属	氏名
日-11	顕在的・潜在的自尊心が社会的排斥 後の感情に及ぼす影響	鹿児島大学学術研究院法文 教育学域教育学系	稲垣 勉
		甲南大学大学院	大浦 真一
		甲南大学大学院	松尾 和哉
		鹿児島大学教育学系	島 義弘
		甲南大学文学部	福井 義一
日-12	大学生生活における学校適応感に関する研究 —居場所感と大学生生活ストレスの 及ぼす影響—	鹿児島大学大学院 教育学研究科	迫田 一城
		鹿児島大学	今林 俊一
日-13	自己愛的脆弱性と友人関係機能の関 連 —支援性に注目して—	福岡県立大学 人間社会学研究科	藤原 沙貴
		福岡県立大学 人間社会学部	吉岡 和子
日-14	スマートフォンのオペレーティング システム選択と被服行動の関連	九州大学文学部	安川 恭平
		九州大学文学部	児玉 芽生
		九州大学文学部	南 健太郎
		九州大学文学部	山下 美貴
		九州大学文学部	吉田 耕心
		九州大学大学院 人間環境学研究院	山本健太郎
		九州大学大学院 人間環境学研究院	光藤 宏行
		九州大学大学院 人間環境学研究院	中村 知靖

第2日 12月10日(日) 10:00~12:00

在席責任時間 奇数 10:00~11:00

偶数 11:00~12:00

【社会・集団・文化2】

掲示 番号	発表題目	所属	氏名
日-15	中日男女大学生の化粧意識と化粧行動	久留米大学大学院 心理学研究科	孫 暁強
		久留米大学文学部	木藤 恒夫
日-16	自己肯定感が及ぼすリーダーシップ 幻想への影響	福岡女学院大学 人間関係学部	田平 桃
		福岡女学院大学	二井 真帆
		福岡女学院大学	池松 茜
		福岡女学院大学	藤村まこと
日-17	人数比率と人数差が説得する意思に 及ぼす影響	山口大学	濱咲 里紗
		山口大学教育学部	小杉 考司
日-18	トキにかかわるプロジェクトが地域 住民の環境意識や配慮行動に与える 効果に関する研究(6)	日本文理大学 経営経済学部	山本 義史
		日本文理大学工学部	杉浦 嘉雄
		大分大学医学部	上野 徳美
		日本文理大学工学部	藪内 聡和

【産業・交通】

掲示 番号	発表題目	所属	氏名
日-19	被災地の地域イメージの検討	福岡女学院大学人間関係学部	古賀 栞奈
		福岡女学院大学	萬壽可奈子
		福岡女学院大学	富田悠未佳
		福岡女学院大学	祝原 希咲
		福岡女学院大学	藤村まこと
日-20	視野制限運転シミュレータを用いた交通場面に対するドライバ反応(2)	九州大学	志堂寺和則

第2日 12月10日(日) 10:00~12:00

在席責任時間 奇数 10:00~11:00

偶数 11:00~12:00

【看護・医療】

掲示 番号	発表題目	所属	氏名
日-21	看護場面のタッチングが第三者に 与える看護師の印象	大分県立看護科学大学	関根 剛
		大分大学医学部附属病院	山崎 紗英

---

## 研究発表要旨

---

### 第1日目(12月9日)

#### 【情動・動機づけ】

##### 土ー1. 看護学生の先延ばしと大学への適応感との関係(1)

大分県立看護科学大学看護学部	秋本 慶子
佐賀衛生看護学院	伊藤真由子
大分県立看護科学大学	吉村 匠平
大分県立看護科学大学	関根 剛

やらなければならないことを行わない,あるいは遅らせる現象を先延ばし(procrastination)と呼び(Lay, 1986 など),先延ばし傾向にある者は成績が悪いことなどが指摘されている(Dianne, 1997)。本研究では,授業や課題(レポート)等が多い看護学生を対象に,先延ばし傾向と大学への適応感の関連を調べた。結果,大学への適応感には,先延ばし行動だけでなく,先延ばし行動の過程で生じる感情や計画性も影響を及ぼすことが示唆された。

##### 土ー2. 科目履修の自由度が大学生の動機づけに与える影響

—必修科目,選択科目と共通教育科目の違い—

鹿児島大学大学院教育学研究科	馬 暁玲
鹿児島大学	島 義弘

本研究では,科目履修の自由度が大学生の動機づけに与える影響について,学部の必修科目,学部の選択科目,共通教育科目を履修している大学生を対象に調査を行った。共通教育科目と選択科目は科目履修の自由度が高いため自己決定性の高い動機づけ(同一化的動機づけ,内発的動機づけ)が高く,必修科目は科目履修の自由度が小さいため,自己決定性の低い動機づけ(外的動機づけ,取り入れ的動機づけ)が高くなることが予測される。

##### 土ー3. 表情と発言の不一致が感情の読み取りに及ぼす影響

九州大学大学院人間環境学府	村井 麻里子
---------------	--------

本研究では,中立的な感情価の音声によって発言を呈示し,表情(喜び,悲しみ,中立,嫌悪)と発言(肯定的,中立,否定的)の不一致が感情の読み取りに及ぼす影響を検討した。その結果,喜び表情,悲しみ表情,中立表情においては発言の影響が認められた一方で,嫌悪表情においては発言の影響が認められず,表情の影響が強いことが示された。

#### 【認知】

##### 土ー4. 損失と連合した視覚情報は注意を捕捉するか

九州大学文学部	伊比井花菜
九州大学大学院人間環境学研究院	光藤 宏行

本研究の目的は,報酬または損失と連合した視覚情報は注意を捕捉するかを調べることであった。実験ではまず,視覚探索課題の正答時に金銭的利益と連合する手がかりを呈示する報酬条件と,誤答時に金銭的損失と連合する手がかりも与える損失条件を設定して学習課題を行った。その後,手がかりの呈示が後続の課題に影響するかを調べた。その結果,報酬とは異なり,損失に関する情報は注意を捕捉しないことを示唆する結果を得た。

## 土ー 5. 現代大学生のリスク事象

久留米大学大学院心理学研究科 桑鶴 啓伸  
久留米大学文学部 木藤 恒夫

現代の大学生はどのような日常事象にリスクを感じているのかを調査した。取り上げた事象は、科学技術や自然現象のほか、大学生の学生生活に関わるもの 110 項目であった。各事象に対するリスクの軽重を調べたところ、従来の研究と同様、原発事故や戦争といった事象が高リスクと評価された。また、身近な事象である飲酒運転や恋人からのDVといった現代的な事象のいくつかも高リスクと評価された。

## 土ー 6. 顔のホクロは魅力度を増加させるのか？

九州大学 中 響子  
九州大学 山田 祐樹

人はどのような顔を魅力的だと評価するのだろうか。これまでに、顔のパーツ位置や形、色合いなどの要素が顔の魅力評価に影響していることが明らかになっている。特に女性の顔においては、化粧をすることによって人々に共通する「美しい顔」という認識が生まれやすいと考えられる。本研究では、女性の顔のホクロの有無が顔の魅力評価に影響するかを検討した。

### 【発達 1】

## 土ー 7. 就学前児同士の相互作用の発達

—共同活動場面から—

九州大学 沖田 夏美  
九州大学 実藤和佳子

子ども同士の相互作用行動は早期から見られるが、共同活動場面における相互作用行動について明らかにした研究は少ない。本研究では、動物などのアイテムを配置して動物園を作る課題を幼児同士のペアに実施し、アイテムの配置についての主張及びその正当化の仕方、他児の主張に対する意思表示、それらの行動をとる頻度等に関する分析から、就学前児同士の共同活動の発達の過程を明らかにする。

## 土ー 8. おもちゃを壊した場面で幼児はどのような向社会的方略を用いるか

—誤信念課題との関連から—

九州大学人間環境学府 山口小夜子  
九州大学 実藤和佳子

幼児期の向社会的行動は心の理論と関連があることが先行研究において示されている。しかし、向社会的行動は生起場面によって見られやすさが異なるため、場面によっては心の理論との関連が見られないことが考えられる。そこで、本研究では、行為者の立場に着目して分類した 2 場面での幼児の向社会的行動を観察し、誤信念課題との間に関連があるのか、また場面間で結果が異なるのかについて検討する。

## 土ー 9. 幼児はどのような種類の因果的に関連のない行為を模倣するのか

—機能的行為と任意的行為を比較して—

九州大学人間環境学府 谷口 雄紀  
九州大学 実藤和佳子

幼児にゴールに関連のない行為—関連のある行為—ゴールの一連の流れを見せると、ゴールに関



連がないのにも関わらず全ての行為を模倣する。この現象は Overimitation(OI)と呼ばれる。これまでの研究から、幼児は関連のない行為とゴールを関連付け、提示された行為を一連の慣習的な行為と受け取り、OI している可能性がある。そこで本研究では、関連のない行為をゴールとの関連付けやすさの観点から、機能的行為と任意的行為に分け、その生起率の差を調査した。

#### 土-10. 幼児は相互作用場面においてどのような位置関係を好むのか？

—クラスの活動場面と自由遊び場面での観察研究—

鹿児島大学大学院教育学研究科 神田まほろ  
鹿児島大学 島 義弘

本研究では、クラスでの活動場面(食事場面や帰りの会)と自由遊びの場面とにおいて相互作用が発生する際の幼児同士の位置関係について検討した。観察の結果、クラスでの活動場面では向き合うタテの関係よりも並ぶヨコの関係を好む傾向があり、自由遊び場面ではヨコだけでなくタテの関係も使用していると示された。クラスでの活動のときは、年長児よりも年少児のほうがヨコ関係を好む傾向が見られた。

#### 【教育1】

#### 土-11. 規範意識、内発的動機および自信がボランティア活動への関心、着手意欲に及ぼす影響

志学館大学 野上 真

子どもと関わるボランティア活動に焦点を当て、規範意識、内発的動機および自信がボランティア活動への関心、着手意欲に及ぼす影響を検討した。調査対象は大学生 137 人である。ボランティア活動への関心、着手意欲に対し、規範意識、内発的動機および自信はそれぞれ有意もしくは有意に近い主効果を持っていた。ただしボランティア活動への関心、着手意欲に対する規範意識と自信、および内発的動機と自信の交互作用は見られなかった。

#### 土-12. 大学1年生の卒論ゼミ参加が学習への内発的動機づけに及ぼす効果

株式会社グッデイ 赤崎 大地  
大分大学福祉健康科学部 古城 和敬

本研究は、大学1年生の卒論ゼミへの体験的参加が学習の内発的動機づけに及ぼす効果を実験的に検討した。心理学専攻1年生 28 名対象。ゼミ参加(有 vs.無)×測定時期(事前 vs.中間 vs.事後)の要因計画。ゼミ参加群(14 名)は計 4 回ゼミに参加した。その結果、学習動機等について期待された交互作用は見られなかったが、大学生生活獲得感ではゼミ参加群の方が「学習の見通し」「先輩との親密化」得点が有意に高いことが見出された。

#### 土-13. 大学生の困り感からみた被援助への抵抗感

鹿児島大学大学院教育学研究科 嶋田未菜美  
鹿児島大学 島 義弘

困り感をもっている大学生は多く、困り感によって様々なサポートが必要である。しかし、困り感をもっている、周囲に援助を求めることのできない学生も存在する。そこで、本研究では困り感と被援助志向性の関連を調整する要因としてパーソナリティを取り上げ、その関連を調査する。援助が必要であるのに求められない人の特徴を明らかにすることが周囲からのアプローチのきっかけとなると考える。

## 【臨床・障害】

### 土-14. 女子中学生のスクールカウンセラーへの相談活動を抑制させる要因の検討

長崎純心大学人間文化研究科 新井 琴音  
長崎純心大学人文学部 吉武久美子

本研究では、SCに相談しなかった者の相談しなかった理由を分析することで、女子中学生のSCへの相談行動を抑制させる要因について検討することを目的として半構造化面接を行った。分析対象者3名を選択しM-GTAを用いて分析を行った結果、女子中学生にはSCの年齢と性別に対する抵抗感があること、SCの積極的な相談室への誘い掛けが生徒を相談室へ遊びに来やすくする一方で、新たな入りにくさを生じさせていることなどが明らかとなった。

### 土-15. 乳幼児期の子どもを持つ母親のメンタルヘルス向上のための介入

宮崎公立大学人文学部 川瀬 隆千  
宮崎大学 立元 真  
宮崎公立大学 野崎 秀生  
宮崎公立大学 後藤 大士  
いわきりこころのクリニック 岩切 祥子  
細見クリニック 坂邊 夕子  
早稲田クリニック 岡本 憲和

前年度発表の乳幼児をもつ母親を対象とした調査に基づき、90分×4回構成のグループ形式の乳幼児版ペアレント・トレーニングを構成し、実践を行った。プログラムの内容は、母親のメンタルヘルスの改善、乳幼児期から幼児期にかけての発達ガイダンス、乳幼児期の子どもへの接し方から構成される。母親の養育スキル、養育に対する認知、ストレス反応を測定し、介入の効果を検討した。結果の詳細については、当日会場にて発表する。

### 土-16. 特別支援学校におけるキャリア発達支援の研究(3)

鹿児島大学大学院教育学研究科・鹿児島県立武岡台養護学校 榎 慶太郎  
鹿児島大学教育学系 今林 俊一

本研究では、特別支援学校(知的障害者)において、一般就労し、それを継続する力のための指導・支援の観点を明らかにすることを目的とした。特別支援学校での進路指導経験が豊富な教師を対象にPAC分析を行い、就労継続力についての指導・支援についてのイメージ構造の分析を行った。その結果、うまくいったケースとうまくいかなかったケースでは、イメージ構造に共通する部分と異なる部分があることが明らかになった。

### 土-17. 大学生の過去の「問題のあるインターネット利用」の実態と寛解の検討

琉球大学大学院人文社会科学研究所 底原 昂大  
琉球大学 遠藤 光男

大学生の過去の「問題のあるインターネット利用」の実態を検討した結果、高校1年生の携帯電話を持ち始めたことからインターネットに夢中になり、高校3年生での大学受験勉強をきっかけにネット利用が落ち着くケースが多いことが示唆された。また、重回帰分析およびロジスティック回帰分析の結果、学業ストレスの高さは男女・利用目的を問わず依存に関係し、居場所感の低さは女性でのみ依存に関係することが示唆された。

### 土-18. 学習障害の事例における漢字単語音読の学習支援

我々は、単語の音読速度と語彙判断課題の成績との関連を明らかにした（古里ら，2016）。本研究では学習障害の5事例を対象に、漢字単語の語彙判断課題の反復指導が、音読速度に及ぼす効果を検討した。その結果、語彙判断課題での反応潜時が短縮する経過とともに、指導後における単語音読反応時間の短縮を認めた。語彙判断課題の反復で、語彙経路による単語処理が促進されたことが、音読速度に効果を及ぼしたと考えられた。

## 【社会・集団・文化1】

### 土-19. ワークシートの質的変容に見られる論理的思考の発達

鹿児島大学大学院教育学研究科・鹿児島市立南小学校  
鹿児島大学教職大学院

赤崎 健樹  
仮屋園正彦

小学校高学年における論理力育成を目指し、ワークシート開発を行った。対話活動と連動させ、児童の論理力がどのように変容していくか観察を行った。分析は質的分析を行い、児童の変容を観察することができた。道徳の授業にて今回のワークシートを用い、児童の論理力が質的に向上している結果が出た。汎用性の高いワークシートであるため、道徳のみならず様々な場面で仕様可能であると考えられる。

### 土-20. 個人間の物理的位置関係と心理的位置関係における相互作用の検討

山口大学 大江 慶寛  
山口大学 小杉 考司

個人間の物理的位置関係は、その個人同士の心理的位置関係を参照して決定されると考えられる。このことを自覚している個人は他人が自身の近くに位置をとった場合に、その他人が自身に好意を持っていると考える。このため、個人同士の物理的位置関係と心理的位置関係は相互に作用しあうと考えられる。本研究は個人同士の物理的位置関係と心理的位置関係の時系列的な変化を定点観測により検討する。

### 土-21. 他者との関係性が居心地に及ぼす影響

大分大学 井川 純一

場面想定法を用いて相手との関係性と性別が居心地の悪さに与える影響を検討した。シナリオは関係性（他人・知人・友人）と性別（男性・女性）を操作した6種類（被験者間要因）作成し、197名の参加者に、居心地の悪さ、対処行動等に関する質問項目に回答させた。分析の結果、知人と同じ空間にいる場合に最も居心地の悪さを感じ、居心地の悪さは、対処行動（積極的に話しかける等）を引き起こすことが明らかとなった。

### 土-22. 見られると浮気しなくなる！？

—評判に対するセンシビリティが男性の短期配偶志向に及ぼす影響—

山口大学大学院  
山口大学

川端 理子  
岩永 翔太

山口大学 猪熊 晃  
山口大学 谷 和剛  
山口大学 田村 奈央  
山口大学 小野 史典

新井田・堀毛(2015)は、質問紙下部に人の目の画像を呈示することで男性の短期配偶志向が弱くなることを示した。この結果は、目の画像により、男性の「女たらし」などのマイナスの評判が立つ可能性(評判の顕現性)が操作された結果、男性の短期配偶指向が抑制されたとされている。本研究では新井田・堀毛(2015)の追試を行うとともに、目の呈示位置を質問紙上部にした際に同様の結果が得られるか否かを検討する。

## 第2日目 12月10日(日)

### 【原理・方法】

#### 日ー1. 内観法と自己エスノグラフィの差異に関する検討

—心理学研究としての〈対象〉および方法的特徴の観点から—

立命館大学文学研究科 土元 哲平

自己エスノグラフィは、文化人類学や社会学の分野において発展してきた質的研究法であり、近年心理学においても用いられている。この方法は自己の経験に対する研究という点で、ヴント(Wundt, W.)の内観法と類似している。本研究では、これら両者が扱う心理学的な〈対象〉および方法的な特徴という観点から、その差異についての検討を行う。

### 【生理】

#### 日ー2. メスマウスの物体再認学習に及ぼすエストロゲンの効果

鹿児島大学 富原 一哉

卵巣ホルモンであるエストロゲンは、海馬神経細胞樹状突起スパインの増加などを介して学習・記憶に影響を及ぼすとされる。本研究では、メスマウスを用いて、非嫌悪性学習である物体再認テストに対するエストロゲン慢性投与の影響を検討した。結果として、エストロゲンはその用量に関わらず物体再認学習を促進した。我々が以前検討した恐怖学習は高用量エストロゲン投与のみで亢進するため、メカニズムが異なると考えられる。

### 【感覚・知覚】

#### 日ー3. 音楽を聴くと作業ははかどる？

—音楽の有無とテンポによる比較—

山口大学 松本 真知  
山口大学 玖村 奈美  
山口大学 坂本 和久  
山口大学 山下 健一  
山口大学 小野 史典

私たちは音楽を聴きながら作業を行うことがある。先行研究では、意味の理解できる言語情報を含む音楽が、文章課題の成績を低下させることが明らかになっている(門間・本多, 2010)。本研究では、音楽の有無やテンポの違いが、数字を用いた課題の作業効率にどのような影響を与えるのかを検討した。また、音楽を聴きながら作業をすることによる感情の変化についても検討した。

## 【学習】

### 日ー４．表示媒体が記憶と文章理解に与える影響

山口大学 有馬多久充  
山口大学教育学部 小杉 考司

電子媒体と紙媒体、二つの表示媒体間での記憶率や文章理解度を比較する。そのうえで、各表示媒体での読みやすさや理解しやすさ・記憶しやすさの主観評価や日常生活における電子媒体の使用頻度と、二つの表示媒体での記憶率・文章理解度との関連を検討した。

## 【発達２】

### 日ー５．児童期におけるアタッチメントと hyper-QU

琉球大学教育学部 中尾 達馬

児童期において、母親へのアタッチメントの安定性は、学校適応とどのような関連性を持つのだろうか。本研究では、小学４年生から６年生計 230 名を対象に、児童版 ECR-RS（中尾・数井・村上、2016）と Hyper-QU を実施した。そして、アタッチメントを構成する 2 因子（アタッチメント不安、アタッチメント回避）と Hyper-QU（学校生活意欲、学級満足度尺度、ソーシャルスキル尺度）との関連性を検討した。

### 日ー６．ブックスタート経験が保護者及び生徒に与える影響

—中学 3 年時追跡調査 I—

福岡女学院看護大学 原崎 聖子  
福岡女学院大学 篠原しのぶ  
国際医療福祉大学 彌永 和美

我々は保護者と赤ちゃんが絵本を介して心触れ合う時間を持つために 10 か月健診時に実施されたブックスタートの経験の有無の影響についての縦断的研究をしている。これまで児童自身および保護者の育児意識、家庭の雰囲気等への影響が小学校低学年から小学校高学年にかけて薄れることについて述べてきた。今回は、中学 3 年に成長した子どもとその保護者のブックスタート経験の影響を比較検討し考察してみる。

### 日ー７．わざと？本気？

—話者の態度が選択的信頼に与える影響—

九州大学 三好 美央  
九州大学 実藤和佳子

本研究は話者の態度が幼児の選択的な信頼に与える影響を検討したものである。選択的信頼に影響を与える要因として親切さ・賢さについては研究が行われているが、話者の態度について検討した研究は少ない。そこで本研究においては、「正しい答えを知っているにもかかわらずわざと間違える話者」と「正しい答えを知らずに間違える話者」の 2 者を幼児に提示し、話者の態度が信頼に与える影響を検討する。

## 【教育 2】

### 日ー８．レジリエンスが中学生のストレス反応とコーピングに及ぼす効果の検討

鹿児島市立皇徳寺中学校・鹿児島大学大学院教育学研究科 今村 慎吾

鹿児島大学教育学系 関山 徹

中学生の心理的ストレス軽減に対する教師の支援方略を検討するために、レジリエンスのストレス反応軽減効果やコーピング促進効果を明らかにした。資質的要因には直接的なストレス反応軽減効果があり、思考転換型のコーピングを促す効果がある。一方、獲得的要因には直接的なストレス反応軽減効果が認められず、むしろストレス反応を伴ってしまう可能性がある。しかし、援助要請型、積極的対処型のコーピングを促す傾向がある。

#### 日－9. 反転学習と模擬養育者との対話実践を導入した「保育相談支援」の評価

—授業前後での「相談」に対するとらえ方の変化—

中村学園大学教育学部 笠原 正洋

保育士資格取得希望者に開講される授業「保育相談支援」において、授業前に知識をテキスト教材として提示し、対面授業では模擬養育者(SP: Simulated Parent)との対話実践を導入した。57名の受講学生に、この授業に導入された反転学習教材と模擬養育者の評価、授業前後での「相談」に関する素朴信念についての回答を求め、これらの教授様式の評価と課題を検討した。

#### 日－10. 3つの「わかる」を尺度にした学習評価の試み

大分大学 藤田 敦

授業中に学習者が体験する「わかる」には、「判る」、「解る」、「分る」の3つのパターンがある。それぞれの違いを踏まえて、授業設計をしていくことで、学習活動がいずれかのパターンに偏ってしまうことを避けることができる。本研究では、授業における学習評価（ルーブリック）の尺度として、3つの「わかる」を活用した実践例を紹介し、その効果について考察する。

### 【人格】

#### 日－11. 顕在的・潜在的自尊心が社会的排斥後の感情に及ぼす影響

鹿児島大学学術研究院法文教育学域教育学系

甲南大学大学院

甲南大学大学院

鹿児島大学教育学系

甲南大学大学院

稲垣 勉

大浦 真一

松尾 和哉

島 義弘

福井 義一

自尊心は、従前より精神的健康の一指標として研究が重ねられてきた。近年は、自己報告などの顕在的測定で測定される「顕在的」な自尊心のみならず、自己報告によらない間接的な手法で測定される「潜在的な」自尊心の効果にも注目が集まっている。こうした流れを受けて、本研究は、自己にとって脅威となる社会的排斥場面に直面した際に生起する感情に対し、顕在的・潜在的自尊心がどのような影響を与えるかを検討したものである。

#### 日－12. 大学生生活における学校適応感に関する研究

—居場所感と大学生生活ストレスの及ぼす影響—

鹿児島大学大学院教育学研究科

鹿児島大学

迫田 一城

今林 俊一

大学生生活におけるストレスは、友人関係、家族関係、学業、アルバイト等多様であり、学校適応感を低下させる要因であると考えられる。福岡ら（1997）は、大学生は友人関係がソーシャル

サポート的な役割を果たすと指摘しており、学校適応感の低下を防ぐことが予測される。本研究では、大学生活におけるストレスとソーシャルサポートの側面としての居場所感が学校適応感に及ぼす影響について検討する。

### 日-13. 自己愛的脆弱性と友人関係機能の関連

—支援性に注目して—

福岡県立大学人間社会学研究科心理臨床専攻 藤原 沙貴

福岡県立大学人間社会学部 吉岡 和子

友人関係を「現実／理想」と「自分⇒相手／相手⇒自分」の2側面から捉えると①自分⇒友人：現実／理想②友人⇒自分：現実／理想③現実の相互作用④理想の相互作用の4パターンが考えられる。同性の友人1人を想定してもらい、4パターンについて回答を求めた。クラスター分析で、自己愛的脆弱性のタイプを6群に分類した。自己愛的脆弱性のタイプと友人関係機能の関連を分散分析で検討した結果、①③で交互作用がみられた。

### 日-14. スマートフォンのオペレーティングシステム選択と被服行動の関連

九州大学文学部 安川 恭平

九州大学文学部 児玉 芽生

九州大学文学部 南 健太郎

九州大学文学部 山下 美貴

九州大学文学部 吉田 耕心

九州大学大学院人間環境学研究院 山本健太郎

九州大学大学院人間環境学研究院 光藤 宏行

九州大学大学院人間環境学研究院 中村 知靖

本研究の目的は、スマートフォンのオペレーティングシステム選択（OS: Android もしくは iOS）と被服行動との関連を明らかにすることであった。そのために、OS 選択および、流行性、機能性、適切性、経済性の4つからなる被服行動尺度を用いた調査を行った。結果、機能性、経済性には OS 選択と有意な関連が見られた。この結果と先行研究の結果との違いについて、OS シェアとの関連から考察を行う。

## 【社会・集団・文化2】

### 日-15. 中日男女大学生の化粧意識と化粧行動

久留米大学大学院心理学研究科 孫 暁強

久留米大学文学部 木藤 恒夫

本研究の目的は日中の大学生における化粧意識と化粧行動の実態を明らかにすることである。平松・牛田（2004）の化粧意識と化粧行動に関する質問紙を用いて（一部改変）、日中の大学生を対象とした調査を行った。その結果、化粧意識は、女子では日本人大学生が中国人大学生より高く、男子では中国人大学生の方が高かった。化粧行動（頻度）では、男女とも、中国人大学生の方が日本人大学生よりも高かった。

### 日-16. 自己肯定感が及ぼすリーダーシップ幻想への影響

福岡女学院大学人間関係学部 田平 桃

福岡女学院大学 二井 真帆

福岡女学院大学 池松 茜

福岡女学院大学 藤村まこと

グループ活動が失敗した際に「リーダーがリーダーシップを発揮していなかった」「リーダーの指導が不十分だった」など、失敗の原因をリーダーに帰属することをリーダーシップの幻想と言う。だが、必ずしもリーダーだけが原因であるとは限らず、フォロワーやグループの環境などが原因であるかもしれない。では、そう認知してしまうのはどんなフォロワーなのだろうか。本研究ではリーダーシップ幻想と自己肯定感の関連性を検討する。

#### 日-17. 人数比率と人数差が説得する意思に及ぼす影響

山口大学 濱咲 里紗  
山口大学教育学部 小杉 考司

本研究では、他人を説得しようとするときに、説得しようとする意志が生じる状況を検討する。要因として自分が多数派側か少数派側のどちらに属するのか、また人数比率、人数の差の3つを設定した。各条件において、説得する気になるかどうかを質問紙により回答を求めた。反応に対して、ベルヌーイ分布を仮定したベイジアンモデリングを行う。そこから、各要因の影響力の強さを分析する。

#### 日-18. トキにかかわるプロジェクトが地域住民の環境意識や配慮行動に与える効果に関する研究(6)

日本文理大学・経営経済学部 山本 義史  
日本文理大学工学部 杉浦 嘉雄  
大分大学医学部 上野 徳美  
日本文理大学工学部 藪内 聡和

トキにかかわるプロジェクトが児童に与える効果を、態度尺度を用いて検討した。その結果、同じ市内の対照条件の児童と比較して、トキについての知識以外は統計的に有意な交互作用は見られなかった。プロジェクト参加児童の意識が事前にかなり高く、一種の天井効果や床効果かもしれない。即ち、自己肯定感、他者からの受容、自己期待感、トキについての知識、町への愛着で対照条件より有意に高く、お金・もの重視傾向は低かった。

### 【産業・交通】

#### 日-19. 被災地の地域イメージの検討

福岡女学院大学人間関係学部 古賀 葉奈  
福岡女学院大学 萬壽可奈子  
福岡女学院大学 富田悠未佳  
福岡女学院大学 祝原 希咲  
福岡女学院大学 藤村まこと

「被災地」と聞いたとき、その地域に対してどのようなイメージを抱くだろうか。自然災害の影響で被災地となった地域の多くは、観光客数が減少する傾向を示し、観光業に対して被害をもたらす。これらの背景を踏まえ、本研究では今年度(2017年度)に記録的豪雨による被害を受けた朝倉市を対象として、被災前と被災後のイメージ比較を行う。そして、被災地の復興支援につなげる施策について考えたい。

#### 日-20. 視野制限運転シミュレータを用いた交通場面に対するドライバ反応(2)

九州大学 志堂寺和則



有効視野が小さい運転者は交通事故を起こしやすいとする研究が多数発表されている。本研究では、視点を中心とした視野の大きさを制限する運転シミュレータを使って、視野の大きさと危険事象に対する反応の関係を検討した。交差点における車両の横からの飛び出しに関しては、視野が狭いときに反応が遅れたが、単に車両が視野に入っていないためという理由以外の影響を伺わせる遅延であった。

## 【看護・医療】

### 日-21. 看護場面のタッチングが第三者に与える看護師の印象

大分県立看護科学大学 関根 剛  
大分大学医学部附属病院 山崎 紗英

看護におけるタッチングの重要さは、看護師および患者の視点から、心理的・身体的苦痛の軽減、睡眠促進などの効果があると指摘されている。しかし、タッチングは第三者が観察できる活動でもあり、第三者に影響を及ぼすことも十分に考えられる。そこで、看護師のタッチングを見た第三者が看護師をどのように評価するか検討したところ、タッチングは看護師の優しさや暖かさを第三者に対しても印象付けることがわかった。

## 九州心理学会細則

- 1 この学会の正会員は、次のいずれかの要件を満たし、正会員1名の推薦があり、理事会の承認を得た者とする。
  - (1) 四年制大学の心理学または心理学関係の学科・専攻等を卒業した者、または認定心理士資格を有する者。
  - (2) (1)以外の者で、心理学または心理学関係の大学院の課程に在学する者、または同課程を修了した者。
  - (3) その他、心理学以外の領域の研究者で、学士以上の学位またはそれと同等以上の十分な研究経歴を有し、かつ心理学に関連する研究または業務に従事している者。
  
- 2 発表資格について
  - (1) 大会において第一発表者となれる者は、正会員および学部学生臨時会員とする。ただし、学部学生が第一発表者となる場合は、担当教員の連名を必要とする。
  - (2) 連名発表者の資格は、正会員・非会員の別を問わない。
  
- 3 年次大会の大会参加費は、次のとおりとする。
  - (1) 一般会員・学生会員(大学院生・研究生) 3,000 円
  - (2) 学部学生臨時会員・非会員連名発表者・非会員臨時会員 2,000 円
  - (3) 高校生臨時会員 500 円
  - (4) 名誉会員 無料
  
- 4 非会員の連名発表については発表費を徴収する。発表費は一人あたり 2,000 円とする。ただし、複数の発表に連名する非会員の発表費を重複して徴収しない。
  
- 5 本規程の改正は、理事会の承認を得るものとする。

### 附則

- 1 本規程は、平成 21 年 5 月 7 日より施行する。
- 2 本規程の改正は、平成 24 年 3 月 1 日より施行する。

---

## 九州心理学会第78回大会賛助御芳名

---

大会賛助・広告・出展者等御芳名

北 大 路 書 房

サ ク セ ス ・ ベ ル

ト ー ヨ ー フ ィ ジ カ ル

ナ カ ニ シ ヤ 出 版

(五十音順敬称略)

本大会を開催するにあたり、上記の皆様より多大なご支援をいただきました。  
ここに、その御芳名を記して、心から感謝の意を表します。

九州心理学会第78回大会準備委員会  
委員長 大元 誠

## 九州心理学会第78回大会準備委員会

委員長	大元	誠	佐賀大学
委員	井邑	智哉	佐賀大学
	石井	宏祐	佐賀大学
	眞田	英進	西九州大学
	下田	芳幸	佐賀大学
	水田	茂久	佐賀女子短期大学
	山津	幸司	佐賀大学
	芳野	正昭	佐賀大学
	若本	純子	佐賀大学

(五十音順)

九州心理学会第78回大会プログラム・発表要旨

発行者 九州心理学会第78回大会準備委員会

委員長 大元 誠

〒840-8502 佐賀市本庄町1番地

佐賀大学教育学部 若本研究室

E-mail : [kyushin78@gmail.com](mailto:kyushin78@gmail.com)

URL: <http://kpa78.pd.saga-u.ac.jp/>

印刷・製本 株式会社 昭和堂



**私たちは心理テストの「総合代理店」  
お電話一本、メール一本で**

日本のエーグ海（瀬戸内海）から  
**あらゆる発行元の多様な心理テストを**  
国内外の大学・企業～医療団体に「一括お届け」をしています。

総合カタログ～パンフ等をお送りします。ホームページからダウンロードも出来ます。  
ホームページをご参照下さい。予算組み・見積り～合見積りにも対応容易です。

**http://www.saccess55.co.jp/**

日本心理検査振興協会会員

**Scientific  
ACCESS**

for  
the  
**BEtter  
Life**

● 代表的ユーザー

学生相談室カウンセラー  
スクールカウンセラー  
臨床心理士・言語聴覚士  
クリニック・精神科医師  
産業カウンセラー  
能力開発トレーナー  
人事採用担当者・研修担当者  
福祉関係指導者  
特別支援教育関係者  
学校教諭養護教諭  
幼児教育関係者

● 代表的発行元

チーム医療  
金子書房  
クリエイションアカデミー  
日本文化科学社  
日本精神技術研究所  
三京房  
竹井機器  
田研出版  
実務教育出版  
日本ポータージ協会  
学芸図書  
新興医学出版社

● 代表的検査

交流分析ビデオ  
箱庭療法用具  
カウンセリングツール  
ロールシャッハテスト  
TEG・SCT  
CMI・SDS・YG  
内田クレペリン検査  
WISC～WAIS  
SLTA・リハブ・MMS  
自律訓練ビデオ  
人事採用検査 各種  
学校用集団式検査 各種

**SACCESS・BELL**

サクセス・ベル株式会社

**http://www.saccess55.co.jp/**

**E-mail (代)**

**jp-bell@saccess55.co.jp**

**Tel 0823-45-5555**

**IP電話 050-3539-6806**

**Fax 0823-45-3535**

〒737-2302

広島県江田島市能美町鹿川3642-1

**Rで多変量解析**  
渡辺利夫 著  
重回帰分析、因子分析、MDS、クラスタ分析、判別分析、数量化理論などを丁寧に解説。  
2200円

**テストは何を測るのか**  
◎項目反応理論の考え方  
光永悠彦 著  
公平なテストのための理論(項目反応理論)とその実施法。  
3500円

**痩せという身体の装い**  
◎印象管理の視点から  
鈴木公啓 著  
瘦身願望とダイエットの関係を心理学的に検討する。  
6000円

**情動コンピテンスの成長と対人機能**  
◎社会的認知理論からのアプローチ  
野崎優樹 著  
力動的モデルの構築へ。  
4500円

**心の科学 [第2版]**  
◎理論から現実社会へ  
兵藤宗吉・緑川 晶編  
基礎から応用までしっかり解説した好評入門書を改訂。  
2400円

**心をつかめば人は動く**  
◎人を導くチカラをつける27の心理学  
フジモトマナブ 著  
職場でリーダーシップを発揮するための技術を事例で解説。  
1800円

**ゼロからはじめる統計モデリング**  
堀 松亮 著  
Rで実際に手を動かしながら学べるように具体的に解説。  
2200円

**計量パソナリティ心理学**  
新しい統計手法を駆使してパソナリティ研究に挑む人たちに向けて幅広くモデルを紹介。  
3800円

**あいまいさへの非寛容と精神的健康の心理学**  
友野隆成 著  
対人関係に関するあいまいさ耐性と精神的な健康の関係。  
5200円

**誤解の心理学**  
◎コミュニケーションのメタ認知  
三宮真智子 著  
誤解はなぜ起こるのか。その後の関係は修復できるのか。  
2500円

**こころと人生**  
◎幸せのライフスタイルを求めて  
中島俊介 編  
胎児期から老年期までの、健やかに生きる心構えを解説。  
2000円

**心理学史**  
大戸 治 著  
人物・学派・キーワードから詳細を学び、心理学をその成り立ちから理解できる。心理学史入門。  
4800円

**ナカニシヤ出版**

TEL 075-723-0111  
FAX 075-723-0095

〒606-8161 京都市左京区一乗寺木ノ本町15  
**http://www.nakanishiya.co.jp/** (税抜価格)

### 刺激呈示装置 TP-03XO

コンピュータによる視覚刺激の瞬間視により、視知覚、記憶実験、注意、弁別、概念形成、認知領域を実験できる汎用刺激呈示装置です。刺激画像の呈示時間、呈示順序を自由に設定できるため、様々な実験目的に合った視覚の構成ができます。



### 液晶フィルムシャッター 刺激呈示実験

透過式液晶調光フィルムを、単眼独立型(2CH)または両眼型(1CH)無音駆動シャッターとして各種心理実験にご使用頂けます。シャッタードライバーはON/OFF時間を制御するタイマー付き。シャッターCLOSE時の接点出力は外部接続できます。小型軽量で持ち運びできます。



スタンドタイプ(大)

液晶フィルム 単眼独立型

### 体温&G.S.R.バイオフィードバック装置



皮膚温とG.S.R.の変化を光点移動と発音音でフィードバックし、リラクゼーションや集中力の基礎的能力を高めます。バイオフィードバックオートシステム：メンタルトレーニング指導法に基づき、バイオフィードバック装置を最大8CHまで接続できます。皮膚温とG.S.R. データを解析できます。

### 生体情報装置 TYPE-A 自律神経系測定

面接やカウンセリング中の緊張、リラクゼーション等、生体情報(心拍、呼吸、皮膚温、G.S.R.、チェックマーカー)を5チャンネル同時測定します。データはテキストファイルに変換できます。



### 検査用紙

表情認知検査 成人/子ども版

新ストループ検査 II

複合数字抹消検査 CDCT

日本語版 UWIST 気分チェックリスト JUMACL

動的知能質問紙 小学3年生～中学3年生

ストレス対処法質問紙

小学生/中学生版

ウエルライフ学校生活充実検査

ウエルライフ診断と指導の手引き

動作法評価検査票・解説書

社会的視点取得検査 中学生用役割取得検査

役割取得検査 4～11歳



### 顔面固定器

スタンド式：顔の位置調整、あごの位置調整がワンタッチでできます。固定式：テーブルを挟んで固定するタイプの顎台です。



### ミラーボックス

ボックスの片側上部から見ると、実際の手と鏡に映った手が同時に見え、両方の手を同時に見ている錯覚を受けます。鏡映像を使っている視覚像と運動感覚のずれを作りだし、視覚-触覚や視覚-身体運動感覚等の異なる感覚モダリティ間の葛藤状況を体験することができます。ミラー療法による動き改善のリハビリに。



### 被暗示性テスト

被暗示性テストは、広く心理学基礎コースの実験実習に取り入れる事に適しています。セット内容：色名暗示テスト/重さの暗示テスト/圧縮・膨張テスト/振子テスト/線分の長さ暗示テスト



### 心理学実験ソフト

錯視法ソフトウェア

鏡映描写法ソフトウェア

心理学実験教材 実験教材ソフト：7種

心理学研究法教材 研究法教材ソフト：4種

Win行動科学のBASIC集 統計解析処理ソフト

### 鏡映描写器

上下逆転メガネ

左右反転メガネ

錯視図

スピアマン式触覚計



# 北大路書房

〒603-8303 京都市北区紫野十二坊町12-8  
☎ 075-431-0361 FAX 075-431-9393  
http://www.kitaohji.com  
振替 01050-4-2083

## 心の治療における感情

—2017年12月発行予定— S. G. ホフマン著 有光典監訳 A5・約224頁・予価2700円+税 心理療法の実施で必要となる感情科学の基礎的な理論や知見をまとめる。感情に関する科学的知見と治療効果が証明されている技法を呈示。科学的知識を持った臨床家の養成のニーズへの高まりに応える。心理学の脳科学と臨床とつなぐ初学者用の概説書。

## 心理学からみた食べる行動

—基礎から臨床までを科学する— 青山謙二郎・武藤崇編著 A5・264頁・本体2500円+税 なぜ食べるのか。どうして過食はおきるのか。重要な研究を厳選し、食行動のコントロールにおける「心理学的メカニズム」を解説。また、偏食や肥満、摂食障害の問題、摂食障害を取りあげ、科学的な根拠に基づいた食行動の異常の理解と介入方法を紹介する。

## パワフル・ラーニング

—社会に関わった学びと理解をつくる— L. ダーリング・ハモンド編著 深見俊崇編訳 A5・272頁・本体2600円+税 主体的・対話的な深い学びには、批判的思考、知識の転移・活用等のパワフル・ラーニングが求められる。その授業デザインを、PBL学習、協同学習、パフォーマンス評価で解説。教室の内外で「柔軟な問題解決者」になるための知見を紹介。

## 生理心理学と精神生理学 第1巻 基礎

堀 忠雄・尾崎久記監修 坂田省吾・山田富美雄編纂 B5・320頁・本体3800円+税 第1巻では生理心理学の歴史的な経緯も含め、主に研究法の基礎的内容を扱う。脳とそれ以外の生体反応を区分し、その測定技術および解析の仕方について詳述する。基礎的知見の体系的理解を得るために国家資格試験の試験対策としても好適。Ⅱ巻応用、Ⅲ巻展開の全3巻。

## ポジティブ心理学を味わう

—エンゲイジメントを高める25のアクティビティ— J. J. フロウ・A. C. パークス編 島井哲志・福田早苗・齋島信也監訳 A5・248頁・本体2700円+税 ポジティブ心理学の全体像を掴み、その精髓に触れる実践活動を厳選。この領域の第一人者が、勇気、謙遜、共感性、感謝、希望といった概念を、現実世界の実践と繋げて理解できるよう促す。

## 古典で読み解く現代の認知心理学

M. W. アイゼンク・D. グルム編 濱田裕司・行塚次郎監訳 A5・308頁・本体3600円+税 注意・知覚・記憶といった認知心理学の基礎から、思考や言語などの高次の認知機能まで、バランスよく14の古典的研究を精選。その意義と限界を、第一線の研究者たちがスリリングに解説する。あたかも偉大な巨人の肩に乗りながら学べる絶好のテキスト。

## 学習科学ハンドブック 第二版第2巻

—効果的な学びを促進する実践/共に学ぶ— R. K. ソーヤー編 大島 純・森 敏昭・秋田喜代美・白水始監訳 望月俊男・益川弘知編訳 B5・288頁・本体3800円+税 「人はいかに学ぶのか」の科学的最新知見を包括的に提供する全3巻。各巻に訳者解説を追加。2巻は、強力な学習成果を導出する教室実践、効果的学びの会話を促進する環境設計を詳説。

## 心理学ハンドブック なるほど! 心理学研究法

第1巻 三浦麻子監修・著 A5・200頁・本体2800円+税 鮮度の高い事例や普遍的なハウツーを盛り込み、どの研究法にも共通する基礎的知識を解説。研究論理も手厚く扱う。実践に迷づく科学としての心理学が「なるほど!」と理解できて、もっと研究したくなる入門書。心のはたらきを科学的に見つめ、「自らの手で研究すること」に力点を置くシリーズ全5巻。

## 心理学って面白そう! どんな仕事で活かされている? シリーズ 心理学と仕事 (全20巻)

シリーズ 監修 太田信夫

●A5判・約160~220頁・予価2000~2600円+税

- |             |            |            |             |                |
|-------------|------------|------------|-------------|----------------|
| 1 感覚・知覚心理学  | 2 神経・生理心理学 | 3 認知心理学    | 4 学習心理学     | 5 発達心理学        |
| 6 高齢者心理学    | 7 教育・学校心理学 | 8 臨床心理学    | 9 知能・性格心理学  | 10 社会心理学       |
| 11 産業・組織心理学 | 12 健康心理学   | 13 スポーツ心理学 | 14 福祉心理学    | 15 障害者心理学      |
| 16 司法・犯罪心理学 | 17 環境心理学   | 18 交通心理学   | 19 音響・音楽心理学 | 20 ICT・情報行動心理学 |